

IV. 令和5年度後期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	協同組合論 (Cooperative Association Study)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	岸上 光克		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 12月16日(土) 13:00~17:00	第3回 1月20日(土) 13:00~17:00	
	第2回 12月23日(土) 13:00~17:00		
<p>【授業のねらい・概要】 地域間格差や生活格差が拡大しているといわれる状況のもと、利益追求型の企業経営ではなく、協同組合という形態が目ざされつつある。協同組合は、一般の会社組織とは異なる目的や仕組みを持った特色ある組織であり、食料、農業、農村を取り巻く環境の中で、大きな役割を果たしてきた。一方で、協同組合に対する理解は必ずしも高いとはいえない。本講義では、協同組合とは何か？、協同組合の課題は何か？などを具体的事例から学び、協同組合について、主体的に考える力を身に付けることを目的とする。今回は農協に注目する。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回① オリエンテーション、協同組合とは何か。 幅広い協同組合の定義を理解するとともに、その理解に求められる知識や視点を確認 [予習] 協同組合(特に農協)に関する情報収集を行うこと [復習] 今後、協同組合(特に農協)がどのようになるか将来を予測すること</p> <p>第1回② 協同組合の基礎理論 歴史や法人形態の特徴について把握するとともに、ディスカッションを実施 [予習] 協同組合について事前に調べておくこと [復習] 授業で習った以外の内容について確認すること</p> <p>第2回① 農協の過去・現在・未来 農協の展開と現状について把握するとともに、ディスカッションを実施 [予習] 農協について事前に調べておくこと [復習] 授業で習った以外の内容について確認すること</p> <p>第2回② 地域農業の持続的発展と営農経済事業 地域農業の持続的発展と営農経済事業を把握するとともに、ディスカッションを実施 [予習] 農協の営農経済事業について事前に調べておくこと [復習] 授業で習った以外の内容について確認すること</p> <p>第3回① 農協における販売事業の展開と特徴 農協における販売事業の展開と特徴を把握するとともに、ディスカッションを実施 [予習] 農協の販売事業(共販・直売所)について事前に調べておくこと [復習] 授業で習った以外の内容について確認すること</p> <p>第3回② まとめ、最終課題の作成と提出 これまでの講義内容を踏まえ、これからの協同組合について検討 [予習] これまでの授業の内容を整理すること [復習] 最終課題を完成させ、提出すること</p> <p>【到達目標】</p> <p>①協同組合(特に農協)の基本的枠組を理解し、説明できる。 ②協同組合(特に農協)を取り巻く社会経済的環境の変化を理解し、説明できる。 ③協同組合(特に農協)の基盤となる農業の産業としての特性を理解し、説明できる。 ④協同組合(特に農協)の社会経済的特性に基づく持続的発展可能性について理解し、説明できる。</p> <p>【成績評価の方法】 各回の講義で行った課題の提出(50点)および最終課題の提出(50点)により評価します。</p> <p>【教科書】 特に指定しません。必要に応じて、資料やファイル(データ)を配布します。</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA全中編「農業協同組合論 第4版」JA全中(2022) ・農林中金総合研究所「地域農業の持続的発展とJA営農経済事業」全国共同出版(2020) <p>その他、授業中に適宜紹介する。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 授業時に提示された予習課題に自主的に取り組んでください。それを踏まえて、授業で議論をします。 受講生の理解度を見ながら、授業の進捗やトピックの一部を調整することがあります(そのつど説明します)。授業内容や個人差によって変わりますが、予習に1時間、復習に1時間程度の学習を計画してください。</p> <p>【履修をする上で必要な事項】 特になし</p> <p>【授業時間外学習についての指示】 授業時間外学習(予習・復習)については授業計画を参照のこと。 ※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			